

調査票の円滑な配布・回収方法について

- 国民の個人情報保護に関する意識の高まり、ライフスタイルや居住形態の変化等により、調査員調査が困難化。
- 調査環境の変化に的確に対応しつつ、調査の的確な実施を確保するため、調査票の円滑な配布・回収方法を要検討。

1. 調査票の円滑な配布方法について

- ・単身、共稼ぎ世帯、オートロックマンション居住世帯等、調査員による対面が困難な世帯への対応として、平成22年国勢調査における取組状況等(国勢調査協力者会議の開催等)を参考にした上で、幅広い関係者(マンション管理会社等)から一層の支援を得られる環境整備策等を検討。

2. 調査票の円滑な回収方法について

- ・郵送提出方式、調査員回収方式(全封入・任意封入)及びオンライン回答方式(※)の導入方法、導入範囲等について、前回調査(試験調査・本調査)における実施状況(別紙「前回調査における調査票回収状況」参照)、郵送提出方式を導入した平成22年国勢調査、他調査における動向を踏まえた上で検討。
- ・検討に当たっては、記入者の利便性のみならず、統計調査員、市町村、都道府県の各段階における事務の流れについても十分な考慮が必要。

※「オンライン調査システム」は、平成25年1月にシステムを更新・運用開始予定。新システムのスペック等についても考慮の上、オンライン回答方式の導入範囲等を決定。



上記課題について、総合的に検討の上、調査票の円滑な配布・回収方法を決定